

Devisor 取扱説明書

対象年齢 7才以上 ※遊ぶ前にご確認ください。 カードの枚数 65枚

色や色調が区別できるように、カラー識別コードをカードの右上に表示しています。

詳しくはColorADDのホームページに掲載 <http://www.coloradd.net/index.asp>

Divisor (ディバイザー) は、約数を使って遊ぶことができるカードゲームだ。プレイしながら約数に加え倍数、素数も学ぶことができるぞ！



●カードを全部配ろう！順番を決め、最初のプレイヤーが好きなカードを出してゲームスタート！

※2~3人の場合は、15枚ずつくばってもOKだ。

山札は横においておこう！

ポイント① 大きい数を出そう！



大きい数を出していくのが基本ルールだ

| | | | | | |
|--------|-------------------------------------|-------|----|-------|----|
| カードの枚数 | 合計 65枚 | | | | |
| 青カード | 30枚 (1,2,3,4,5,6,8,10,12) | | | | |
| 赤カード | 16枚 (15,16,18,24,27,30,36,48,54,72) | | | | |
| 約数カード | 10枚 | 素数カード | 3枚 | Zカード | 1枚 |
| ×2カード | 1枚 | ×3カード | 1枚 | ×4カード | 1枚 |
| ÷2カード | 1枚 | ÷3カード | 1枚 | | |

●出したカードに、他のメンバーが全員パスした場合は、場のカードを流し、最後に出したプレイヤーは好きなカードを1枚出すことができるよ。

ポイント② 約数カード (オレンジ) が出たら？ みんなで約数を出そう！一番大きな数を出したプレイヤーがラウンドの勝利だ！



24の約数を出していこう

1

8

3

12

ラウンド終了。一番大きな約数12を出した人が好きなカード出してゲーム再開。



大きな約数12を出した人が好きなカード出してゲーム再開。

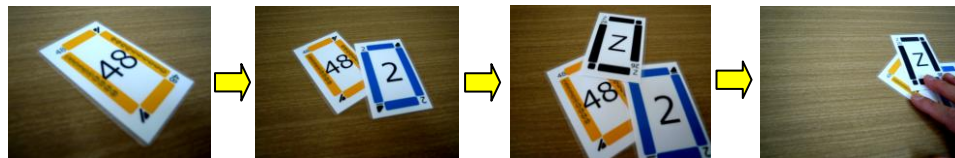
●約数と同じ場合は、あとに出した人が優先となる。約数カードを出した人も、最後に状況を見て約数を出せるので、ラウンドを優勢にすすめられる。

ポイント③ 素数カード (黒) の使い方。7、37、67だよ。



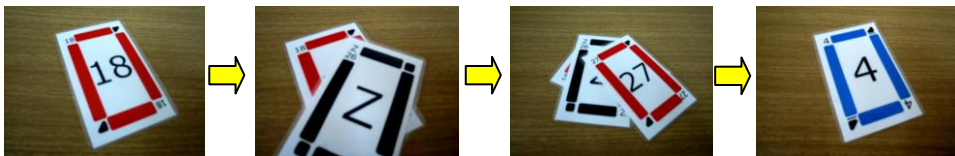
●素数カードを出したら、ラウンドを終了させ、好きなカードを出してゲーム再開できる。切り札になるぞ。

ポイント④ Zカードの使い方



約数をもっていたのにZカードが出たので、出せなくなっちゃった。

●Zカードを出したら、約数ラウンドを終了させ、好きなカードを出すことができる。約数ラウンドが途中で終了するため、Zカードよりあとの人は、約数が出せなくなる。



このときは26

●約数ラウンドでないときZカードを出すと、数字の26としてラウンドはそのままつづく。

ポイント⑤ ×2、×3、×4カードの使い方



2枚合わせて12だ



32

ポイント⑥ ÷2、÷3カードの使い方



12



9

約数カードと合わせて使うと約数の効力がなくなり、数字カードになる。



0÷3=0

● $\times 2$ 、 $\times 3$ 、 $\times 4$ カードは青の数字カードに合わせて使える。 $\div 2$ 、 $\div 3$ カードは赤の数字カードと約数カードに合わせて使える。場にカードがない時に、かけ算、わり算カードを1枚で出すと数字の0になるぞ。

ポイント⑦ ゲームスタート!

●手持ちのカードが残り1枚になったら「チェック」と宣言しよう。あがるときには「ディバイザー」と宣言だ。最初に手札をなくしたものが勝者になる。最後に2枚組み合わせて出してもOKだ。この場合は「チェック」の宣言は必要ないぞ。

<かけ算カード> (青) 3枚 青の数字カードと一緒に出して、数を大きくすることができます。かけ算の計算は以下の通りです。

| | | | | | | | | | | |
|------------|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 8 | 9 | 10 | 12 |
| $\times 2$ | 2 | 4 | 6 | 8 | 10 | 12 | 16 | 18 | 20 | 24 |
| $\times 3$ | 3 | 6 | 9 | 12 | 15 | 18 | 24 | 27 | 30 | 36 |
| $\times 4$ | 4 | 8 | 12 | 16 | 20 | 24 | 34 | 36 | 40 | 48 |

<わり算カード> (赤) 2枚 赤の数字カードや約数カードと一緒に出して、数字を小さくすることができます。わり算数の計算は以下の通りです。

| | | | | | | | | | | |
|----------|----------|----------|----|----|----------|----|----|----|----|----|
| | 15 | 16 | 18 | 24 | 27 | 30 | 36 | 48 | 54 | 72 |
| $\div 2$ | \times | 8 | 9 | 12 | \times | 15 | 18 | 24 | 27 | 36 |
| $\div 3$ | 5 | \times | 6 | 8 | 9 | 10 | 12 | 16 | 18 | 24 |

●かけ算カードとわり算カードは、場に何も無いときだけ、1枚で出すことができます。この場合は0となります。